

夕方遅くに訪問すると、「若い娘さんがこんなに暗くなっているのに早く帰りなさい!!」といつまでも**言ってもらえる幸せ**。もう若くないですよ。(ケアマネジャー／50代) 歯の悪い方の調理で、家に卵と魚肉ソーセージしかありませんでした。マグカップで茶碗蒸しを作り、お出しすると「**こんなにおいしいの初めて**」と泣いて喜んでくださいました。(訪問介護員／50代) グループホームでリンゴの皮むき。ピーラーを渡してもうまくできない。包丁を渡すと「あっ」という間に皮むき完了。**昔取った杵柄**は認知症の診断があっても関係ないっ!(管理者(通所介護)／40代)

帰宅時、入居者様から「明日も来てくれるの?」、「はい」と答えると、「あ〜良かった嬉しい! **明日も宜しく、待ってるね**」と、言って下さる。待っていてくれる方がいる。頑張ろう。私のモチベーションです。(介護職兼ケアマネジャー／50代) 脳梗塞後遺症片麻痺の方より「命は医師に助けてもらったが、**生活と人生は君たちに救ってもらった**」と言っていた。介護職員たちに伝えました。(リハビリ職／50代)

だから私は、この仕事を続けたい!

「喜怒哀楽」がギュッと詰まっている介護の現場。人と人がしっかりと向き合っているからこそ、日々、小さなものがたりが生まれています。

ね」と笑顔を見せてくれた時、スタッフである私を氣にかけてくれたんだ!!と嬉しい想いでも今も頑張っています。(介護職／50代)

人。今後の成長が楽しみです。(機能訓練指導員／40代) 介護職となり初めての夜勤の日、厳しそうな入居者様がありました。その方が仕事終了時に「**無事終わったね**」と笑顔を見せてくれた時、スタッフである私を氣にかけてくれたんだ!!と嬉しい想いでも今も頑張っています。(介護職／50代)

いつも若い人からパワーを貰っているというおばあさま。私が落ち込んでいると背中を擦りながら「**パワーをあげるよ**。元気になったらまた分けてね」と笑顔で話される一言に心が癒されました。(生活相談員／50代) 生前、父が使っていたスポン。今はご利用者様の汚れたスポンの替えに使われています。着替えを手伝う度に父に「**どう?俺、ちゃんと仕事してるぞ**」と今は仕事に誇りを持って取り組んでいます。(機能訓練指導員／40代)

がん末期のAさんの自宅に訪問した際、病状が進行し症状が辛い時期であったが、「**あなたが来ると気が晴れて元気になるよ**」と話してくれた。その時、この仕事を選んで良かったと心から感じました。(看護職／30代) 訪問介護で全盲の方のご自宅を訪れると、私の声だけで「**〇〇さんが来てくれたのね。嬉しいわ、待っていたの**」と言って下さった。とても嬉しかったです。(介護職兼ケアマネジャー／50代) 冬至の日「ゆず湯」という言葉を初めて聞いた新人。利用者みんなから説明を受けて、出した答えが「飲み物なんですか?」と真顔で答える姿を見て、大爆笑をさらっていた**大型新人**。今後の成長が楽しみです。(機能訓練指導員／40代) 介護職となり初めての夜勤の日、厳しそうな入居者様がありました。その方が仕事終了時に「**無事終わったね**」と笑顔を見せてくれた時、スタッフである私を氣にかけてくれたんだ!!と嬉しい想いでも今も頑張っています。(介護職／50代)



あなたのスキルで人を笑顔に

介護のおしごとと荒川区



どんどん多様化が進む介護業界。 「あなたらしく活躍できる」 そんな場所がきっと見つかります。

「介護業界」と聞いて、どんなシーンをイメージしますか。
いま、介護サービスの担い手や働く環境が、
どんどん変わり続けていることをご存じでしょうか。

そのキーワードは「人材の多様化」です。
さまざまなバックグラウンドを持つ人々が介護職を「当たり前の選択肢」としてとらえ、
経験や強みを発揮して「自分らしい働き方」を実現しています。

こうしてそれぞれの個性が重なり合って、
新しいカタチの介護施設やサービスづくりが進んでいます。

超高齢社会がさらに進んでいくこれからは、従来の枠組みにとらわれず、
もっといろいろなことにチャレンジできる可能性が広がるはずです。
あなたらしく、やりがいを感じながら活躍できる場所が、きっと見つかります。

安心して住み続けるために 「支える人」がもっと必要です



●高齢化率の推移



●高齢者単独世帯及び高齢夫婦世帯の推移



出典：「第9期荒川区高齢者プラン（令和6年度～令和8年度）」

？ 荒川区の高齢者を
取り巻く状況は？

団塊の世代が全員75歳以上となる令和7年（2025年）を迎えること、また、高齢者人口がピークを迎える令和22年（2040年）を見通すと、85歳以上の人口が急増し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者などさまざまなニーズのある要介護高齢者が増加すると予測しています。

？ 高齢者になると、
どうなる？

では、高齢化が進むと、どんな社会になるのでしょうか。男女ともに平均寿命や健康寿命が延びており、65歳以上の就業者数も上昇傾向にあります。「元気な高齢者」という印象が強まる一方で、65歳以上の一人暮らしや要介護者等の数は増加しています。健康上の不安を抱えたり、人との関わりに消極的になったりして社会との接点が減ってしまうと、「生きがい」を失ってしまうことにもなりかねません。このため、社会全体が協力して、高齢者の地域での居場所やつながり、心身の健康づくりをサポートしていくことが強く求められています。

？ 介護職はなぜ必要？

ここ荒川区でも、およそ4人に1人が高齢者であり、支援・介護が必要な人が1万人近くいます。今後も支援・介護を必要とする人が、住み慣れた地域で安心して生活し続けていくためには、その担い手である介護職が欠かせません。「みんなが共存できる社会」の実現を後押しする介護職は、まさに「時代が求める仕事」といえるでしょう。

「介護のプロ」ってどんな人ですか？



介護を必要としている人たちは、一人ひとり、心身の状態や望んでいることなどが異なります。「生きがいを感じられる」生活を送るには、どんな支援が必要か——。さまざまなプロたちが知恵と技術を結集することで、介護は成り立っています。



介護系 (ケアワーク)

介護職員

食事、入浴、排せつのほか、行事などへの参加サポートなど、日常生活の介護を行います。高齢者福祉施設・事業所の日常業務において中心的な役割を担いますので、利用者のニーズを的確に読み取り、臨機応変に対応できるスキルや知識が不可欠です。介護技術はもちろん、調整や援助計画の作成・評価など、実務面での高いスキルが求められます。

【あると望ましい資格】

介護職員初任者研修修了、実務者研修修了、介護福祉士

【働く場所】

デイサービス (通所介護)、グループホーム (認知症対応型共同生活介護)、特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) など

※上記の他、看護職員や機能訓練指導員などの職種もあります。

ホームヘルパー (訪問介護員)

家事や介護面での援助を受けることで在宅での生活が可能になる高齢者の自宅を訪問して介護サービスを提供します。食事の準備、洗濯、掃除、買い物などを行う生活援助と、食事、入浴、排せつの介助などの身体介護が主な業務。ニーズに合わせて、数時間の滞在や、複数の家庭を巡回してそれぞれ短時間でサービスを行うなど、さまざまな形態があります。

【いずれかの資格が必須】

介護職員初任者研修修了、実務者研修修了、介護福祉士

【働く場所】

介護を必要とする高齢者の自宅 (所属先は訪問介護事務所等)



相談・援助・調整系 (ソーシャルワーク)

ケアマネジャー (介護支援専門員)

要介護者等が心身の状況に応じた適切な介護サービスが利用できるよう、ケアプラン (介護サービス計画) を作成します。また、居宅サービス事業所など関係各所との連絡・調整も行います。要介護者等が自立した日常生活を営むために必要な援助に関する専門的知識及び技術を有することが求められ、介護支援専門員の資格を取得する必要があります。

【必要な資格】

介護支援専門員

【働く場所】

居宅介護支援事業所、特別養護老人ホームなどの施設、地域包括支援センターなど

※上記の他、サービス提供責任者や福祉用具専門相談員などの職種もあります。

生活相談員

住み慣れた地域や施設で安心して暮らせるよう、高齢者一人ひとりの環境を調整します。利用者や家族からの相談対応や、個々の利用者の援助計画の作成のほか、施設・事業所内の多職種間の調整や福祉事務所・病院など関係機関との連絡調整も行います。地域の社会資源の調整やケアマネジメント業務の実践といったコミュニティケアの推進役でもあります。

【あると望ましい資格】

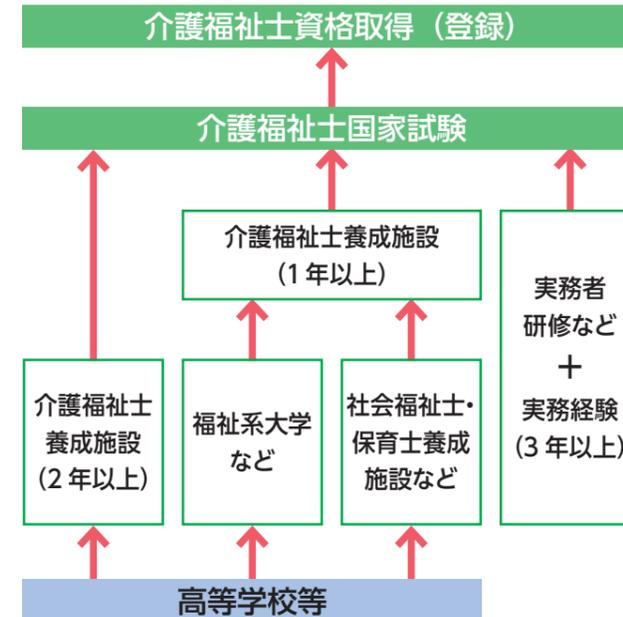
社会福祉士、社会福祉主事任用資格

【働く場所】

デイサービス (通所介護)、グループホーム (認知症対応型共同生活介護)、特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) など

介護福祉士資格の取得方法

介護福祉士になるには



「介護福祉士」は、介護系の資格で唯一の国家資格。業務内容は、専門的知識と技術を用いて、日常生活を送ることが困難な高齢者に対して食事や入浴などの介助を行います。介護福祉士になるには国家試験に合格して登録を受ける必要があります。さまざまなルートで目指すことができます。

介護福祉士は、日本全国どこにいても社会的に広く認められた介護のプロとして働くことができます。資格手当がつくことでもあるので、給与面でも大きなメリットとなります。また、実務経験を5年積むとケアマネジャー (介護支援専門員) 試験の受験資格が得られます。令和6年度の職種別合格者を見ると、介護福祉士が占める割合は64.6%という結果が出ています (参考：厚生労働省)。介護福祉士は介護業界でのキャリアを検討するうえで重要な資格のひとつです。

※資格取得ルート図は、一部ルートを掲載しています。詳細・最新の情報は、社会福祉振興・試験センターのホームページをご確認ください。

どんなところで働くのですか？



介護のプロたちは、どんなところで、どんな役割を担うのでしょうか。介護で大事なものは、高齢者が「自分でできること」を長く維持したり、前向きな気持ちを持つことを後押しすること。施設や自宅で、自分らしい生活を支えます。



居宅介護支援事業所

在宅で介護を受ける高齢者に対して、ケアマネジャーは心身の状況、生活環境、希望などを考慮したケアプランを作成します。利用するサービスの種類、内容、担当者など、計画に基づいてサービスが提供されるように、さまざまな事業所などとの連絡・調整を行います。

【関連職種】 ケアマネジャー（介護支援専門員）



訪問介護

住み慣れた自宅で自分らしい生活を送りたい、そんな人々のニーズに応えるのが「訪問介護」です。ホームヘルパー（訪問介護員）が食事、入浴、排せつなどの身体介護、掃除、洗濯、買い物、食事の準備などの生活援助を行います。事業所によっては通院などを支援するために乗車・移送・降車の介助サービスも提供します。

【関連職種】 ホームヘルパー（訪問介護員）、サービス提供責任者



デイサービス（通所介護）

高齢者の方が日中、自宅でできる限り自立した生活を送ることを目的に利用するのが「デイサービス（通所介護）」です。デイサービスセンターなどの施設において、食事や入浴などの支援、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービスなどを提供し、利用者の送迎も行います。「認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）」は認知症の方、「療養通所介護」は難病、認知症、脳血管疾患後遺症などの重度要介護者やがん末期患者が対象です。

【関連職種】 介護職員、生活相談員、看護職員、機能訓練指導員、ドライバー



施設系（特別養護老人ホーム、グループホームなど）

特別養護老人ホームは、常に介護が必要な方を対象に、日常生活上の介護や、健康管理などを行います。グループホームは、認知症の利用者を対象にした少人数の施設で、日常生活上の介護や機能訓練などを行います。

【関連職種】 介護職員、ケアマネジャー（介護支援専門員）、看護職員

下記 URL 内の「介護事業所を探す」から、荒川区内の介護サービス事業所を検索できます！

<https://carepro-navi.jp/arakawa>



企画力

施設などで実施される季節のイベントや各種のレクリエーション。「みんなに楽しんでもらえること」が好きなら、企画力やクリエイティブな力を発揮するチャンスです。

体力

ササッと機敏に動いて、利用者たちをケア。スポーツで培った体力やフォーメーションの知識が活かせるかも。

忍耐力

利用者によっては、説明を尽くしても、なかなか納得してもらえないこともあるでしょう。根気強く温かい言葉をかけられる忍耐力も重要なスキルです。

たくさんあります！

システム知識

利用者のデータを把握・共有するためのタブレット端末や各種ソフトウェア、業務をサポートするロボットの導入などなど。テクノロジーを活用して質の高いサービスを生み出すスキルは、ますます求められるでしょう。

リーダーシップ

施設や事業所の管理者だけでなく、フロアリーダー、ケアリーダーなど、チームを束ねるポジションはさまざま。年齢や経験年数だけを問わず、リーダーシップが評価される業界です。

介護現場で活かせる
あなたのチカラ

「人に笑ってもらえると自分もうれしい！」「運動なら自信あり！」「デジタル機器なら詳しいよ！」—— 職員のさまざまな「好き」や「得意」を受け入れてくれる、そんな「懐の深さ」が介護の現場にはあります。例えばどんな個性が活かせるのか、見てみましょう。

学び続ける姿勢

介護の知識や技術は、「ここまで身に付ければいい」ということはありません。向上心を持って取り組み、経験を重ねるほど充実していく、それが介護職の大きなやりがいです。

観察力

現場の安全・安心を支えるのは、利用者の日々の変化に気づける観察力。きめ細かな配慮は、介護職の基本スキルです。

外国語スキル

介護スタッフ、また利用者にも増加している外国籍の方々。語学力や、異文化を理解する能力へのニーズも高まっています。

判断力

想定外のことも起こり得るのが日々の介護の現場。優れた「判断力」が利用者の心身を守ります。

コミュニケーション力

利用者に寄り添い、傾聴し、笑顔を引き出せる。さらに家族、同僚の介護職員、関係機関など、内外の関係者と良好な関係を築ける——。そんなコミュニケーション力を持つ人材は、現場の「いい雰囲気づくり」に貢献するキーパーソンです。



介護は一方通行の関係じゃない 元気をもらえる場所でもあります



きっかけは？

子育てのこともあり、ワークライフバランスを重視して「非常勤でシフト制、土日祝は休み」という条件を探しました。そこで条件に当てはまったのが介護の仕事です。介護業界は重労働などのイメージがあり悩みましたが、「何かの縁かな、とりあえず行動してみよう!」という気持ちでチャレンジしてみました。



適切なサービスのあり方は多種多様

バイタルチェックや準備体操、入浴準備・入浴介助、レクリエーションなどのほか、送迎車の運転も担当しています。仕事をしていると、ご利用者の笑顔に触れたり、気にかけて声をかけていただいたり、実は私の方が元気をもらえることも多いんですよ。体や病気に関する知識も自然と増えて健康に対する意識も高まりましたし、もし自分の家族に対して介護が必要になったときにも、きっと過剰に身構えることなく「普通のこと」として捉えられそうな気がします。

介護度や生活状況が違うので、適切なサービスのあり方も同じではありません。血圧測定やお茶を渡す業



管理者より

デイサービスは1人の専門職だけでは成立しません。ここでも20代から60代の複数の専門職がチームとなって仕事をしています。彼女は誰にでも自然体で接し、周囲にはいつも笑顔があふれています。自分以外の誰かのことを考えた行動が「サービスの質の向上」や「誇れる仕事」につながる、それを体現する存在です。若い職員に対しては明るい母親的な存在で、頼れる相談相手でもあるんですよ。

週末の休日は、予定が合えば家族と一緒に次女の部活の試合を応援したり、地元のラグビーやサッカーチームの観戦に出かけたり。家族の記念日のお祝いは、ぜったいに欠かしません!

My Private Time

務などを積極的に行い、名前を呼ぶ回数を多くするなど、工夫して一人ひとりのことを覚えていきました。送迎については、道を覚えるのに大苦戦。日が暮れて目印が分からなくなってしまい、会話でごまかしながら必死にルートを検索したこともあります(笑)。ご利用者に温かく見守っていただきながら、「よく覚えたね。頑張ったね!」とうれしいお言葉をいただけるようになりました。

ずっと笑顔が絶えない職場です

最近のご利用者の状況や課題を共有し、適切な支援を話し合う担当者会議に参加しています。ご本人とご



ある1日

- ▼ 8:30 出勤/当日利用者の確認・準備
- ▼ 8:50 利用者迎え入れ/バイタル測定/水分提供/運動指導/機能訓練補助
- ▼ 10:30 入浴介助
- ▼ 11:45 ~ 12:45 休憩時間
- ▼ 13:30 運動指導
- ▼ 14:30 レクリエーション実施
- ▼ 16:00 おやつ準備・提供
- ▼ 17:00 利用者送り出し/掃除
- ▼ 17:30 退勤



家族の想いを把握した上で、現場での状況をケアマネジャーと情報共有し、多職種のチームで質の高いサービスの提供につなげたいと思います。私の強みは人見知りをしない性格ですから、今後もさまざまな方と関わっていききたいですね。

ご利用者の人数が多い日には、職員が自分の持ち場だけでなく、お互いにカバーします。無事に1日を終えられると大きな達成感がありますね。何より明るい職員が多く、ご利用者との会話中も笑顔が絶えません。介護業界の職場の雰囲気や形態はさまざまなので、自分に合った環境も見つけやすいんじゃないでしょうか。実際に携わってみると「身近に感じる」お仕事だと思いますよ。



「笑顔が得意」なリーダーとして奮闘 まずは行動、自信はあとからついてくる



きっかけは？

「飲食業界と介護業界、どちらにしようか」と迷った末に、最終的に選んだのはこの道でした。これは、私が祖父母にとっても可愛がられて育ったことが大きく関係しています。本当にお世話になったので、高齢の方々を支える仕事でがんばっていくことで、どこか「恩返し」にもつながるのではないかと考えたんです。



ケアリーダーとして力をどんどん高めたい

建設関係で職人として働いていた経験がありますので体力には自信がありましたし、「自分にはきっと合っているだろう」と前向きな気持ちで介護業界に飛び込みました。とはいえ、「肉体的にもメンタル的にも大変そう」というイメージはありましたね。もちろん仕事ですから、うまくいくことばかりではありません。ただ実際に働いてみて分かったのは、大変さよりも多くの「笑顔」があふれているんだなということでした。

ここで働く職員の中で年齢的には若いのですが、日勤のケアリーダーを任されるようになりました。期待に応えたいとモチベーションが高まりつつ、責任の大きさも



管理者より

人懐っこさ、そして物怖じしない彼の性格は、ご入居者をはじめ多くの人から慕われています。ケアリーダーに任命すると率先して行事などにも取り組み、教わったことや、勉強したことを現場で積極的に活かそうとする努力の人でもあります。このキャラクターを活かして、自分なりの介護職員像を作り上げてほしいですね。

生まれも育ちも荒川区。仕事のあとや休日は、友人と一緒にドライブしたり、カラオケに行ったりすることが多いです。定期的に足を運んでいるのは銭湯。サウナが大好きなんです。

My Private Time

感じています。みんなの力も借りながら、周囲への適切な指示や判断力をもっと磨いて、ご利用者のみなさんが安心して過ごせる毎日を目指しています。

日常会話を大切に一人ひとりのことを知る

ご利用者の顔、名前を覚えるために、いろいろな情報や気づいたことをノートに書きつけました。意識したのは日常会話をたくさんすること。コミュニケーションを通じて一人ひとりの状態をきちんと把握し、何を望んでいるのかを理解することを心がけました。私は目立ちたがり屋の性格だということもあって（笑）、ご利用者の笑顔を引き出すのは得意です。施設のブログ



ある1日

- ▼ 9:00 出勤
- ▼ 10:00 ~ 11:00 お茶提供/体操準備/昼食準備
- ▼ 11:00 体操・レクリエーション
- ▼ 12:00 ~ 13:00 昼食/片付け/排せつ介助/体操準備
- ▼ 14:00 体操・レクリエーション
- ▼ 15:00 おやつ準備・提供
- ▼ 16:00 排せつ介助
- ▼ 17:00 夜勤スタッフへ申し送り
- ▼ 18:00 夕食準備/退勤



用の写真撮影をするときや、イベントでの司会進行など、持ち前の明るさをフル活用しています。私の顔を見てニコッとしてくれるご利用者がたくさんいらっしゃるのうれしいですね。

これから、資格取得にもどんどん挑戦していきます。業務内容のことを聞かれたり、誰かから相談を受けたりしたときには何だって答えられる、そんな頼れる存在になりたいと思います。改めて思うのは、介護業界に行くかどうかを悩んでいるのなら、先に行動してみてもいいんじゃないかなということです。誰も最初から覚悟や自信があるわけではなく、「あとからついてくるもの」だと思いますから。



高齢者がもっと輝くお手伝いを「介護美容」を多くの人に広めたい



きっかけは？

総合病院の看護助手として5年近く働いていました。実習でデイサービスを訪れたところ「楽しい」と感じたのが、介護業界への転身を考え始めたきっかけです。私が好きな美容に関するスキルをもっと高めて介護業界の役に立てたら。そんな思いがどんどんふくらんで、この道に進むことを決めました。

心がけたのは積極的な行動

介護業界で働こうと決めてからは、新しい目標に向かって積極的に行動することを心がけました。まずは病院に勤めながら勉強しました。働き始めたばかりのころは夜勤がある生活スタイルに慣れませんでしたし、入浴介助の順番や時間配分などの工夫が必要でした。でも、経験を重ねて自分にできることが増えていくと、仕事が好きになっていくんです。介護記録もタブレットを活用するなど現場のデジタル化も進んでいますので、働き方もいい方向に進化していると感じます。



管理者より

当施設では職員のチャレンジを応援しており、「Beauty Day」をはじめ、独自の試みがたくさん生まれています。ご利用者だけではなく地域住民も巻き込んだ取り組みとして受け入れられているのは、ご利用者と一緒に働く仲間のニーズをしっかりと収集する努力をして、コミットできているからなのだと思います。

時間があれば、介護美容をどう広げていくかを考えています。逆に頭をスッキリさせたいときには、旅行したり、よもぎ蒸しでデトックスしたり。心身をリラックスさせることを大事にしています。

My Private Time

「ケアビューティスト」がもっと認知されるように

現在、力を入れているのは「介護美容の必要性」を広く知ってもらうための活動です。介護美容のスクールで高齢者対象のネイル、エステ技術を習得しました。その強みを活かして、ご利用者にキレイになってもらうことで元気を届ける「Beauty Day」を毎月実施しています。女性にも男性にも喜んでもらえて、表情や発言などがパツと明るくなるのを見ると、本当に良かったなと感じます。次はどんな内容にしようかと、企画を考える毎日です。

勤務するグループホームは、髪型が自由など個性を尊重してくれます。周りの理解や協力を得ながら、自

分のアイデアやチャレンジ精神を発揮しやすい環境があると感じています。採用面接で施設を訪れた際には、フロアの見学をおすすめします。実際に働いているスタッフの雰囲気などを見て、自分がそこで働いていることをしっかりとイメージできるかは、勤務先を決める上で大切なポイントです。

また、その施設で提供しているサービス、掲げている理念と自分が目指すものが重なっているか。そこが合う場所なら、きっとやりがいを感じると思います。

ある1日

【日勤】

▼ 9:00 ~ 9:30

出勤/申し送り

▼ 10:00 ~

入浴支援/昼食準備/
入居者支援

▼ 18:00

退勤

【夜勤】

▼ 17:00

日勤スタッフから申し送り

▼ 17:30 ~ 18:00

夕食/服薬対応

▼ 18:00 ~

口腔ケア/就寝介助

▼ 21:00 ~ 5:00

巡視

▼ 5:00 ~ 6:00

朝食作り/起床介助

▼ 7:00 ~ 8:30

朝食/入居者対応

▼ 9:30

日勤スタッフへ申し送り

▼ 10:00

退勤





毎日が「変化」の連続！ 自分自身の成長を実感しています



きっかけは？

理学療法士として医療機関で働いていたので、介護は身近なものでした。父が若年性認知症と診断されたことから介護が始まり、病状が進行すると特別養護老人ホームへ入所することになりました。そうした中で、「住み慣れた地域で暮らしたい」という思いを支える介護の仕事に魅力を感じ、転職を決断しました。



一緒に涙を流した経験が後押しに

認知症の父を施設に任せることを決心したとき、実は後ろめたい気持ちもありました。でも職員の皆さんがそれまでの母や私の労をねぎらってください、一緒に涙を流してくれる姿を見て「この施設にお願いしてよかった」と安心して父を託すことができました。このような体験が、介護業界に踏み出す後押しとなったのです。

現在、ケアマネジャーとして居宅介護支援事業所で勤務するかたわら、理学療法士の経験も活かしています。デイサービスの運営責任者として運営の管理や提供している機能訓練への助言を行うほか、地域包括支



管理者より

分からないことはこまめにちゃんと質問してくれますし、逆にリハビリ援助の相談に乗ってもらうこともあります。リハビリ業務とケアマネジャー業務の兼任は負担が大きいからこそ、互いに助け合っている環境が理想ですね。相談しやすい職場を心がけ、一人で悩まず一緒に考えて解決できる関係性を大切にしています。

休日は都内の下町散策や食べ歩き、デイキャンプなど。一番の楽しみは海外旅行ですが、最近は折りたたみ自転車を持って国内旅行に出かけ、観光地を自転車でめぐって楽しんでいます。

My Private Time



援センターから地域住民に向けた介護予防に関する講話や体操指導を依頼されることもあります。

介護は人と人との絆を深める

今でもまだまだ対処しきれないこともあります。職場の上司・先輩や、区内の事業所の方が優しくサポートをしてくださるので、安心して仕事に取り組んでいます。働き始めた当初は介護保険制度にのっとって業務を行う必要があることから、制度を理解しながら実務を覚えていくことが大変でした。制度の確認を繰り返し行い、情報を収集したファイルや業務の手順書を作成して使っていました。

ある1日

- ▼ 8:30 出勤。1日の予定と前日のデイサービスの運営状況を確認。
- ▼ 9:00 デイサービスのご利用者の様子や機能訓練の実施状況を確認後、ケアマネジャーとしてご利用者のケアプランの作成や提供されるサービスの調整。
- ▼ 11:00 居宅介護支援事業所のご利用者宅へ訪問。現状の生活状況やサービスが適切に実施されているか確認。
- ▼ 12:00 事業所に戻り休憩。
- ▼ 13:00 訪問業務を再開。サービス内容の変更が必要となる場合は、各サービス事業所の皆さんがご利用者宅に集まり、今後の生活や必要なサービスについて話し合う会議に参加することもある。
- ▼ 15:00 事業所に戻り、ミーティングや職員の面談。
- ▼ 16:00 1日の業務の記録。
- ▼ 17:30 退勤



ご利用者から「身内も介護が必要になり困っているので担当のケアマネジャーになってほしい」とご依頼をいただくこともありました。1年目だった私を信頼してご家族の担当を任せていただけたことがうれしく、自信を持つことができました。

介護に関わる職員は、ご利用者やその家族にとって欠かせない存在です。私も、親の介護を通して介護職員の皆さんに励まされ、何度も救われました。介護はその人が生きていくことを肯定し、人と人との絆を深める営みであると感じています。人を大切に想い、チームで協力して介護に取り組む経験は、自分自身をきっと大きく成長させ、豊かな人生を歩む一助になると思います。

プロまでの道のりをサポートします

手厚い支援で「まっすぐ」目標へ！

Support

荒川区



①②は介護事業所に就労前の方を対象、③④⑤は区内介護事業所の従業員の方を対象

①介護の基礎知識を学ぶ・施設見学 (介護に関する入門的研修)

区内介護事業所で働きたい方に、介護未経験者が介護に関する基礎知識や技術を学ぶための入門的研修を実施します。

◎介護の基礎知識、認知症の理解等を学ぶ全5回(計21時間)【無料】

◎希望者には仕事相談や施設見学を実施予定

②介護の仕事を知る・質問・相談 (福祉のしごと相談・面接会)

区内介護事業所や高齢者施設等が参加し、福祉の仕事に関心がある方等を対象とした、相談や質問をお受けします。(開催は年1回)【無料】

◎福祉の仕事が未経験の方や迷っている方に、資格や仕事に関する総合的な相談をお受けします。

◎事業所のPRや求人内容などを直接聞くことができます。

◎当日、面接を受けることもできます。

③研修受講費の補助 (介護サービス事業所人材育成事業)

区内介護事業所を対象に、従業員が「介護職員初任者研修」または「介護福祉士養成のための実務者研修」を受講・修了した場合に、事業所が負担した費用を補助します。

◎介護職員初任者研修(1人あたり上限9万円)、介護福祉士養成のための実務者研修(1人あたり上限18万円)

*初任者研修の受講後に、実務者研修を受講し、ステップアップする方も多数います。

④介護に関する幅広いテーマを学ぶ (介護サービス事業者研修)

区内介護事業所で勤務する方に、職員の専門的な知識を強化し、介護サービスの質の向上を図るための研修を実施します。

◎介護職の接遇・マナー、リーダーのコミュニケーション力、高齢者虐待防止、口腔ケアと栄養管理の重要性と実践方法、介護現場でのメンタルヘルス対策など、毎年多彩な研修メニューがあります。(年12回)【無料】

⑤介護に従事して10年以上の方を対象 (永年勤続従業者表彰)

介護事業所に通算10年以上従事した方に、感謝の意を表し、表彰状と記念品(図書カード)を贈呈しています。

※上記の荒川区事業は令和6年度実施事業の一部です。令和7年度以降の最新情報は区ホームページ等で確認してください。



荒川区や東京都では、多彩な介護人材確保・育成支援事業を実施しており、介護職員等の確保・育成・定着を支援し、介護サービスの質の向上を図っています。

Comment ①



荒川区長 滝口 学

荒川区は、古くからの歴史や下町風情を随所に残しつつ、各地域で新しいまちづくりも進み、懐かしさと新しさが混ざり合った、人と人とのふれあいを大切にしているまちです。そして、荒川区の介護サービス事業所で働く皆様は、高い志と強い信念を持たれ、介護が必要な方々に真心のこもったサービスを提供されています。高齢者が住み慣れた地域でその方らしく生活できるように、介護職やケアマネジャーなど多様な専門職の皆様や関係機関が一丸となり、互いに協力し合って日々尽力されています。荒川区の介護保険事業における大変大きな役割を担っており、とても心強い存在です。荒川区は、高齢者だけでなく、介護サービス事業所で働く皆様に全力でサポートできるよう、様々な取組を進めています。人情あふれる荒川区で、是非介護のお仕事に挑戦してみませんか!?



Comment ②

荒川区介護保険課 事業者支援係

私たちは、研修や補助事業等の介護人材支援事業の実施や、運営基準に基づく介護事業所への指導・助言などの業務を担当しています。介護事業所や従業者の方々が安心して円滑に事業を運営し、適正な介護サービスを提供できるよう日々サポートしています。お気軽にお問合せください。



荒川区の介護人材支援情報はこちらから▼



東京都



▼①は介護事業所に就労前の方を対象、
②③は都内介護事業所の従業員の方を対象

①かいごチャレンジ職場体験事業 (未経験者に対して、職場体験からマッチング、就業、定着まで支援)

介護業界で働いたことのない幅広い年代の方に、職場体験を通じて、介護の仕事への理解を深めていただき、職場体験からマッチング、就業、定着までを支援します。

◎1日4時間から参加OK、1日5千円の支援金あり

◎選べる3つのプログラム

1. 入門プログラム(施設や事業所内の見学、職員との座談会)
2. コミュニケーションプログラム(利用者との会話・対応)
3. 体験プログラム(食事や歩行介助、レクリエーション参加)

②現任介護職員資格取得支援事業 (介護福祉士国家資格取得にかかる経費補助)

介護サービス事業所で働く職員が、介護福祉士国家資格の取得に要した経費について、法人が支援した場合、その支援の一部を助成金として交付します。

③介護支援専門員法定研修受講料補助事業

ケアマネジャー(介護支援専門員)の資格取得・更新に必要な法定研修の受講料を都内事業者が負担した場合、受講料の4分の3を補助します。

※上記の東京都事業は令和6年度実施事業の一部です。令和7年度以降の最新情報は都ホームページ等で確認してください。

あったまる ほっとする あらかわ

働く人、子育て中の人、休日をのんびり過ごす人、みんなと一緒にイベントで盛り上がりたい人。いろんな人を温かく迎え入れてくれて、いつの間にかとけ込める。そんな「誰もがほっとできるまち」荒川区へ、ようこそ。



遊んで！
踊って！
食べて！
見とれて！



荒川区では、年間を通してさまざまなイベントが開かれ、魅力的なグルメをあちこちで味わえます。介護事業所や施設のご利用者とお祭りやお花見を楽しむのもいいでしょう。例えば、秋の「あらかわ遊園」では、ドイツの「オクトーバーフェスト」にちなんで「オクトーバーフェスト」を開催。区内の飲食店などが用意したおいしいビールや料理を目当てに、大勢の人でにぎわいます。初夏には区内各所で「バラ」をテーマにした催し、夏には盆踊り、冬にはライトアップなどなど。お気に入りのイベントやお店が、きっと見つかります。



いつもありがとね

初めて訪れたのにどこかつかしい、そんなスポットが荒川区には点在しています。例えばレトロ感たっぷりの商店街や、23区でトップクラスの数を誇る、さまざまな種類がそろった銭湯。人と人の距離が近く、気軽なコミュニケーションが作り上げてきた自然な雰囲気が魅力です。介護事業所や施設のご利用者と一緒に、のんびりと商店街を歩いたり、スーパーで買い物をしたり。町をてくてく歩けば、朝は「いってらっしゃい」、夕方には「おかえり」「いつもありがとね！」——元気でぬくもりあふれる声には、荒川区らしさが凝縮されています。



文学の香り、ふわり



休日にふらりと訪れたいゆったりエリアの一つ、荒川区立宮前公園。隣接する尾久図書館では、四季折々の花々を眺めながら読書を楽しめる見晴らしカウンターが設置されています。図書館の1階には、手作りのパンとコーヒーを楽しめるベーカリーカフェも。コーヒーと文学を、心ゆくまでどうぞ。

ガタゴト
すいすい♪



三ノ輪橋～早稲田間を運行する東京唯一の都電、「都電荒川線」。長年区民に親しまれ、仕事にも遊びにも便利な「なくてはならない」存在です。ご利用者のお宅を訪問するケアマネジャーやホームヘルパーにとって、区内の移動手段の定番は「自転車」。坂道が少ないので、すいすい走れて快適です！

